

HP Operations Smart Plug-in for Virtualization Infrastructure

ソフトウェアバージョン: 12.00

HP Operations Manager for Windows®、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステム

リリースノート

ドキュメント リリース日: 2015 年 8 月
ソフトウェア リリース日: 2015 年 8 月



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2010-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Microsoft® および Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle は、Oracle またはその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このガイドの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント リリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェア リリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。 <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の取得登録は、次の Web サイトから行なうことができます。 <https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、HP ソフトウェア サポート ページ 上部の登録リンクをクリックしてください。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP ソフトウェア サポート オンライン Web サイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com>

HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HP ソフトウェア サポート Web サイトのサポート範囲は、次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポート ケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェア カスタマとの意見交換
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセス レベルに関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Now は、HPSWのソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

| | |
|--|----|
| HP Operations Smart Plug-in for Virtualization Infrastructure リリース ノート | 5 |
| このリリースの新機能 | 5 |
| サポートされている環境 | 6 |
| ソフトウェアのライセンス | 7 |
| サポートマトリックス | 8 |
| インストールについて | 8 |
| 既知の問題と回避方法 | 8 |
| 制限事項 | 9 |
| ドキュメントの更新情報 | 9 |
| 各国語版のサポート | 9 |
| ドキュメントのフィードバックを送信 | 10 |

HP Operations Smart Plug-in for Virtualization Infrastructure リリースノート

HP Operations Manager for Windows[®]、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステム用

ソフトウェアバージョン: 12.00

発行日: 2015 年 8 月

このドキュメントでは、HP Operations Smart Plug-in for Virtualization Infrastructure (VI SPI) の変更の概要を説明します。このドキュメントでは、マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要事項について説明します。このドキュメントの構成は次のとおりです。

- [このリリースの新機能](#)
- [サポートされている環境](#)
- [ソフトウェアのライセンス](#)
- [サポートマトリックス](#)
- [インストールについて](#)
- [既知の問題と回避方法](#)
- [制限事項](#)
- [ドキュメントの更新情報](#)
- [各国語版のサポート](#)

このリリースの新機能

HP Operations Agent から HP vPV への X86 仮想テクノロジーの進化

HP Operations Smart Plug-in for Virtualization (VI SPI) および HP OMi Management Pack for Infrastructure (OMi MP for Infrastructure) ユーザーは、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM、Xen などの x86 仮想化テクノロジー用の Virtualization Performance Viewer (HP vPV) の監視機能のみのエディションの使用を開始することができます。

HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure バージョン 12.00 の更新内容は次のとおりです。

- Operations Agent Virtual Appliance は販売停止になります。
- VI SPI は X86 仮想化をサポートしません。

x86 仮想化テクノロジーについては、HP Operations Agent 11.1x が廃止になるまで、引き続き VI SPI および、OMi Management Pack for Infrastructure の仮想化コンポーネントを使用できます。x86 仮想化以外のテクノロジー (HPVM、AIX、Solaris) については、引き続き VI SPI および VI Management Pack を使用できます。

HP vPV へのテクノロジーの進化によって次のような主な利点が得られます。

- 拡張性と相互運用性の向上
- メトリクスの対象範囲の拡大

テクノロジーの進化により、HP vPV で同様の置き換え機能を使用できると共に、HP vPV のプレミアムエディションでは、物理、仮想、およびクラウドテクノロジーのトラブルシューティングの効率を向上させ、処理能力を最適化することができます。

詳細については、hp.com/go/vpv を参照してください。

サポートされている環境

VI SPI をインストールする前に、お使いのシステムが HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーおよび管理ノードの最小要件を満たしていることを確認してください。

サポートされているオペレーティングシステムアーキテクチャ、リリースバージョン、最近の更新については、次のサポートマトリックスの URL を参照してください。[HP ソフトウェア サポート マトリックス](#)

管理サーバーの要件

Infrastructure SPI は、HPOM for Windows[®]、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステムでサポートされます。次の表は、HPOM の要件と、管理サーバーにインストールする必要がある HP ソフトウェア製品を示しています。この表に記載されているパッチは、適用できる最小レベルのパッチです。必ず最新のパッチを適用してください。

| 製品名 | オペレーティングシステム | サポートされているバージョン | パッチ/ホットフィックス |
|-----------------------|--------------|----------------|---|
| HP Operations Manager | Windows | 9.00 | OMW_00185 |
| | | 8.16 | OMW_00186 |
| | HP-UX | 9.21.100 | OMUADMINUI_00012.zip、 OMHPUX_00013.depot |
| | Linux | 9.21.100 | OMUADMINUI_00012.zip、 OML_00089.rpm |
| | Solaris | 9.21.100 | OMUADMINUI_00012.zip、 ITOSOL_00811.shar |

| 製品名 | オペレーティングシステム | サポートされているバージョン | パッチ/ホットフィックス |
|-------------------------------------|-----------------|----------------|--------------|
| HP Performance Manager (グラフを表示する場合) | Windows | 9.20 | - |
| | Solaris | 9.20 | - |
| | Linux | 9.20 | - |
| HP Reporter (レポートを表示する場合) | Windows - 64ビット | 4.00 | - |
| | | 3.90 | - |
| | Windows - 32ビット | 3.80 | - |

* ホットフィックスの入手については、HP サポートまでお問い合わせください。

管理ノードでサポートされているエージェントのバージョン

Infrastructure SPI は、Windows、AIX、Linux、HP-UX、または Solaris オペレーティングシステムが稼働するノードをサポートしています。次の表は、管理ノードに配布する必要のあるエージェントのバージョンを示しています。

| 製品名 | サポートされているバージョン |
|---------------------|----------------|
| HP Operations Agent | 12.00 |

サポートされている仮想化ベンダー/テクノロジー

- IBM AIX LPAR および WPAR
- Oracle Solaris ゾーン
- HP Integrity Virtual Machine (HPVM)

サポートされているバージョンおよびアーキテクチャの詳細については、次のサポートマトリックスの URL を参照してください。[HP ソフトウェア サポート マトリックス](#)

ソフトウェアのライセンス

VI SPI用の個別のライセンスは必要ありません。ライセンスは、HP Operations Agent Software LTU (使用権) を購入すると付属しています。1 つの HP Software Operations Agent LTU に、SI SPI、CI SPI、および VI SPI の LTU が付属します。

サポートマトリックス

この製品のすべてのソフトウェアおよびハードウェアの要件が表示されたサポートマトリックスについては次の場所を参照してください。[HP サポートマトリックス](#)

注記: 一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートアクセスレベルの詳細については、「[アクセスレベル](#)」を参照してください。

HP Passport ID を登録するには、「[HP Passport の登録](#)」にアクセスしてください。

インストールについて

インストール要件および VI SPI のインストール手順については、インストールガイド (HP Operations Agent および Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド) を参照してください。

既知の問題と回避方法

各問題の参照番号は、Quality Center Change Request (QCCR) 番号です。未解決の問題の詳細については、[HP ソフトウェア サポートオンライン](#)を参照するか、HP サポート担当者に直接お問い合わせください。

QCCR1A163772: Infrastructure SPI 11.10 以上をインストールすると、ポリシーグループ **インフラストラクチャ管理**内のポリシーが上書きされる。

回避方法: Infrastructure SPI 11.10 以上をインストールする前に、ポリシーグループ **Infrastructure Management** の名前を変更します。例: ポリシーグループ **Infrastructure Management** の名前を **Infrastructure Management 2_01** に変更できます。2_01 はバージョン番号です。

QCCR1A162736: サーバー上でのノードグループ追加の自動アクションがタイムアウトになる。

回避方法: 管理サーバーで次のコマンドを実行してください。

```
ovconfchg -ns eaagt -set OPC_KILL_AUTO_ACTION_TIMEOUT 1000
```

QCCR1A153786: Infrastructure SPI ポリシーがノードに配布されるときに `Opc1e` が中止される。

回避方法: ありません。

制限事項

- HP Performance Manager 9.00 がインストールされている HPOM for Windows 9.00 管理サーバーから Infrastructure SPI をアンインストールするときには、次の警告が表示されます。

パッケージ HPSpiInfG 11.11.xxx (HP Software SPI for Infrastructure - Graphs); をアンインストールすることができません。依存パッケージ: HP Performance Manager。

この警告メッセージは無視してもかまいません。

- 親リソースプールの UUID の取得に失敗したために一部のネストされたリソースプールが検出されない場合があります。詳細については、[QCCR1A162251](#) を参照してください。

ドキュメントの更新情報

VI SPI には、以下のドキュメントが用意されています。

- HP Operations Agent および Smart Plug-in for Infrastructure インストールガイド
- コンセプトガイド
- ユーザーガイド

このドキュメントの最初のページには次の情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号
- ソフトウェア リリース日

更新状況の確認や、ご使用のドキュメントが最新版かどうかは、[HP ソフトウェア製品マニュアル Web サイト](#)をご利用ください。

ドキュメントを入手するには、以下を選択します。

1. **製品名**
2. **バージョン** リスト
3. **オペレーティング システム**
4. **優先言語**
5. **表題**
6. **【開く】**または**【ダウンロード】**をクリックします。

PDF 形式のファイル (*.pdf) を表示するには、Adobe® Reader をインストールしておく必要があります。Adobe Reader をダウンロードするには、[Adobe Web サイト](#)にアクセスしてください。

各国語版のサポート

HP は、ローカライズされたソフトウェアと英語のドキュメントを提供します。

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on リリース ノート (Operations Smart Plug-in for Virtualization Infrastructure 12.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。